

## 【指定就労継続支援A型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	くいーる作業所・花園		代表者指名	理事長 洪川 直子	
事業所所在地	青森市花園1丁目25-17				
連絡先	電話番号	017-757-8688		FAX番号	017-757-8689
職員数	15	定員	20	利用者数	27 (うち身体 6 知的 15 精神 5 その他 1)
事業所の設置主体	社会福祉法人・民間企業・NPO法入・その他			設立年月日	平成27年4月1日
改善計画期間	2020年 4月 1日～2021年3月31日 (1年間とすること)				

1 現在、基準条例第181条第2項を満たすことができていない理由と具体的改善策  
(詳細かつ具体的に記載すること)

<p>(未達成理由)</p> <p>取引先の事業縮小 作業量の獲得不足</p>	<p>(具体的改善策)</p> <p>平成30年の新規事業 (①4月からのビルメンテ、②7月からの施設・病院の委託清掃、③11月からの大手フランチャイズのポップコーン販売) で年間収益は軌道に乗れば予想では賃金を上回ると予想されていた。しかし、①の取引先からの事業の縮小により現行では、賃金を若干下回っている。②に関しては取引先との価格交渉、法人全体で分担業務としていたが、12月より当事業所の一本化により売上28万円程度増加。また、新規の内部作業も3社取り入れた。しかし、現行では年間売り上げ48万円程度である。目標としては新規内部作業の年間売上120万円だったので、目標を下回ってしまった。</p> <p>年度の後期になってしまったが、2020年2月より健康食品の施設外作業を開始する。年間売り上げ見込みは93.4万円程度、プラス内部作業年間6万円程度見込める。</p> <p>③のポップコーンの販売に関しては、以前は場所を借りて委託販売することを重点にしていたが、イベントや催事をメインとして販売することにシフトした結果、月額平均15万円売上増となった。花見時期は70万円、クリスマスには40万円弱と爆発的な売り上げを獲得するノウハウも身につけた。しかしねぶた期間では惨敗してしまった。閑散期、繁忙期を把握したために、今後はロスを少なくし、より計画的に販売していく。</p> <p>いままでは新規事業が多くなった為、それらのルート営業をメインとしてきたが、地盤が固まりつつあるので、今後は外部・内部作業の新規拡大営業を重点にしていく。</p> <p>また、新規事業を企画している。自社製品や店舗の運営を視野に入れ、昨年11月、事業所裏敷地を借り上げ、整備中である。(現在は冬の為に整備中止である) 東青森駅通に面しており、駐車スペースも十分に確保出来る。近隣の飲食店は繁盛しており、借り上げた土地で店舗(飲食店)を構えても勝負できるであろう。土地の整備は経費削減の為に、自社で行っている。テナントはこれもまた経費削減の為にトレーラーハウスかログハウス、プレハブを自力で建設予定であり、固定資産税の削減となる。そこで展開する自社製品はもとよりあるポップコーンと飲食店営業を画策している。ポップコーンに至っては今までは無店舗型だったのに対し、店舗を構えることにより、15%の売り上げ増(30~40万円)、を見込める。飲食店営業の面に関しては土地は用意したものの、まだプロジェクトの立ち上げ段階のため、お恥ずかしい話ではあるが、白紙状態である。</p>
---	--

## 2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
段ボール加工、ラベル貼、商品の封入封緘、などその他内部作業 施設、病院などの環境整備などその他施設外作業	健康食品会社の施設外の作業プラス内部作業 既存清掃作業の単独化 ポップコーンの売り方機転 新規内部・外部作業の獲得 土地の借り上げにより新規事業の飲食店、ポップコーンの有店舗化

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性(どのような資格、経験等を持った者が担当するか等)について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び計画期間を通じて達成する事業収入目標額（1年間の額を記載）

現在の収入額	計画期間を通じて達成すべき目標収入額
1680万円	2023.4万円
(主な費目) (内部作業19万円+自社製品20万円+施設外作業101万円)×12か月=1680万円	(積算根拠) 別紙参照 20,222,101円以上必須  既存売上 1680万円 健康食品の施設外作業 93.4万円 ポップコーン売上増加分 35万円 新規獲得営業による内部・外部作業 35万円 + 今夏からの飲食店営業 180万円 2023.4万円

(注)目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

4 現在の生産活動に伴う経費及び計画期間を通じて達成する必要経費の見込額（1年間の経費を記載）

現在の経費	計画期間を通じて見込まれる経費
951万6千円	1251万6千円
(主な費目) (雑費3000円+ゴミ廃棄1万円+食材費12万円+灯油13万円+ガソリン2.5万円+電気3万円+保険2万円+家賃45.5万円)×12か月=951万6千円	(積算根拠) 左記(主な費目)951万6千円+新規事業経費300万円=1251万6千円

5 生産活動に係る事業の収入－生産活動に伴う必要経費

現在の「収入－経費」	計画期間後の「収入－経費」
728万4千円	771.8万円

6 現在の利用者の総賃金額及び計画期間後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	計画期間後の支払い総賃金額
20,222,101万円	20,222,101万円
(積算根拠) 別紙参照	(積算根拠) 新規事業や拡大を見込んで利用者の人員を拡大したため、今後、賃金総額はあまり変動はないものと思われる。

事業所代表者署名欄 三上 太一



※「現在」はいずれも、基準条例第181条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。  
※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。